

平成 22 年度

事業報告書

1.法人の概要

法人名 学校法人小さき花園幼稚園
代表者 理事長 越田喜美子
住 所 神戸市垂水区霞ヶ丘 7-4-4
電 話 078-707-3116
FAX 078-707-3226

設置する学校

住 所 鳥取県鳥取市西町 1 丁目 455

名 称 小さき花園幼稚園

入学定員及び園児数の状況

	入学定員 (人)	実園児数(人)
満 3 歳児	15	8
3 歳児	45	17
4 歳児	70	30
5 歳児	70	42
合計	200	97

役員・教職員の概要

理 事 5 名
監 事 2 名
評 議 員 11 名
教 職 員 16 名 (うち教員 9 名 職員 7 名)

2.事業の概要

教育方針

神様を愛し人々を大切にし、心身ともに健康な子供に育てる。

当該年度の事業の概要

本年度は、地域におけるニーズに応えることを目標として、教育の質の向上、子育て支援活動を積極的に実施した。

教育方針及び行事への評価

【 教育目標 】

- 国・県から示される教育目標の中から、基本的な生活習慣を身につける事と話を聞くことに重点を置いた。
 - ・ 基本的な生活習慣で、挨拶、衣服の着脱は一人で出来るようになったが、整理整頓や物の扱いなどはまだ徹底していなかった。
 - ・ 話を聞く態度
 - － いろんな場所、時間に関わらず、話を聞く事に力を入れ園児を指導した。園児たちは真剣になって聞く態度が一年を通して身につけ、育ってきた様に思われる。
 - ・ ヤマハ・スポーツ振興会からサッカーボールの寄贈があり、Wカップの影響も受け、園児もサッカーに興味を持ち出していたので、サッカーを共にすることによって体力と協調性が養われたように思う。来年度も全園児にサッカーを広めていきたい。

【 行事の評価 】

○主な行事

<久松登山>

4月24日 年長組(41名) 標高260m程の低い山ですが、山登りの経験が初めての園児が多く、登るのに時間がかかったが全員が無事に登り終え、下山できたこと。その中で園児どうしが励まし合っていたのには感動しました。頂上から、砂丘、日本海、千代川、鳥取市街を眺めることで、疲れを癒されました。多くの園児は恐怖や苦しみを通してやり遂げた自信と、共同体の力と助けを経験できたと思います。これからの園児たちの生活に大きな力になると思います。

<汽車遠足>

5月19日松崎東郷湖公園。鳥取より西に40分「わートンネル、先生みてみて・・・」と、園児たちは汽車遠足を満喫しました。お弁当の後は、先生と一緒にたくさん汗をかいて遊びました。

<幸朋苑(老人施設)>

毎月一度施設を訪問し、子どもたちの歌、手遊び、ダンス等を通して、一時間ほどの楽しい時間を過ごします。3歳児は、初めての体験なので最初は恐れ泣き出してしまいましたが、回を重ねて、年中・年長組になるとお年寄りの方々を思いやることができるようになった。また、施設の方からは喜ばれ、9月は、幸朋苑の方からは、園に来てくださいます。

<お泊り保育>

昼間は若桜響の森に行きました。ストーンペインティングに挑戦したり、館内の施設を巡り、楽しい時を過ごしました。夜はレイク大樹で一泊、42名が枕を並べて、大好きなお友達と一緒に眠りました。両親と初めて離れ不安と淋しさ、友達と一緒に休む楽しさなどを通して自分への自信と友達同士の信頼、協力性を身につけたと思う。初めての親離れ、子離れの機会になったと思う。

<運動会>

年長児の鼓笛隊、当日は最高の出来でした。保護者の皆さんからの温かい拍手を頂いたのが、子どもたちの大きな励みとなりました。各年齢の園児なりの努力によって、見ている人々に喜びを与えられたことを体験し、苦しくともやり遂げた喜びと、達成感を冠したと思う。これ以降の園児たちの成長は目に見えて大きかった。

<七五三祝福式>

年長児、親子での参加。神父様からの祝福と、マリア様のメダイを頂き、成長を感謝しました。

<キャンドルサービス>

世界で初めてのクリスマスの劇をしました。子供たちの伝えたいメッセージがご父兄の皆様の心に響いたことでしょう。素敵なクリスマスとなりました。

<誕生会>

毎月、先生方の創意工夫によるゲーム等で楽しい時間を過ごします。誕生日には皆で祝ってもらえることは、自分の誕生日の来るのが楽しみで、誇らしく思う園児が多くなりました。

未就園児を対象として、毎月1回程度在園児と未就園児の親子とのふれあい、また、同年齢のお母さん同士が話をして仲良くなるきっかけの場となりました。